



# 環境支援の実践報告書

小学部2年

実践した項目	2生活(刺激の調整)⑤	
< 実践前 : 令和2年6月25日 >	< 実践後 : 令和2年10月20日 >	
<p data-bbox="92 488 226 526">&lt; 写真 &gt;</p>  <p data-bbox="751 750 869 884">→</p>	<p data-bbox="831 488 965 526">&lt; 写真 &gt;</p> 	
<p data-bbox="92 1108 226 1146">&lt; 説明 &gt;</p> <ul data-bbox="92 1153 774 1243" style="list-style-type: none"><li>• 棚の中身が見えているため, 授業中などに児童の目に入り, 気が散ってしまっていた。</li></ul>	<p data-bbox="831 1108 965 1146">&lt; 説明 &gt;</p> <ul data-bbox="831 1153 1508 1332" style="list-style-type: none"><li>• 目隠しのために布をかけたことで, スッキリして見えるようになった。 また, 周囲の環境により児童の気がそれることを防ぐようにした。</li></ul>	
<p data-bbox="454 1397 1136 1435">&lt; 環境の改善ポイント・児童生徒の変化など &gt;</p>		
<ul data-bbox="92 1489 1212 1534" style="list-style-type: none"><li>• 目隠しのために布をかけたことで, 教室がスッキリして見えるようになった。</li></ul>		
<p data-bbox="606 1688 986 1727">&lt; 今後の取組について &gt;</p>		
<ul data-bbox="92 1780 1484 1960" style="list-style-type: none"><li>• 必要に応じて, 児童個人のロッカーにも布などで目隠しをする。</li><li>• 目隠しをしたことで物がどこに入っているのか分かりにくいこともあるため, どこに何があるのか, 教師だけでなく児童も把握できるように入っている物の絵カードを所定の位置に貼るなど工夫をする。</li></ul>		

# 環境支援の実践報告書

小学部2年

実践した項目

1安全(安全)⑥ 2生活(刺激の調整)⑤

< 実践前 : 令和2年4月10日 >

< 実践後 : 令和2年6月24日 >

< 写真 >

< 写真 >



< 説明 >

児童の視界の中に気になるものがたくさんあり,授業中も指差したりずっと見たりすることがあった。また,高いところにものを置くなど安全面を考慮できていないところがあった。

< 説明 >

児童の席のまわりにもあまり物を置かないようにし,刺激を減らした。また,安全面を考慮した。高いところに物を置かないようにした。

< 環境の改善ポイント・児童生徒の変化など >

児童の席の周りに物をできるだけ置かないようにし,安全面を考慮したり動線を確認したりした。また,周りに物を置かなくなったことで,児童も集中して学習に取り組む姿が見られるようになった。

< 今後の取組について >

- ・児童の席の近くに物を置かないようにし,安全を確保する。
- ・児童の好きなものは児童の目に入らないところに置き,授業に集中できるようにする。

# 環境支援の実践報告書

小学部2年

実践した項目

2生活:刺激の調整⑤

< 実践前 : 令和2年4月17日 >

< 実践後 : 令和2年6月1日 >

< 写真 >



< 写真 >



< 説明 >

授業の流れを提示する際に、教室正面の大きなホワイトボードに掲示していたため、ほかの写真カードなどと一緒に目に入り、分かりにくかった。

< 説明 >

移動式ホワイトボードを準備し、流れのカードのみを掲示するようにした。

< 環境の改善ポイント・児童生徒の変化など >

- カードを児童の近くで提示することができるようになった。
- カードに目線をやることが増えてきた。

< 今後の取組について >

- 活動内容によっては、カードを入れる箱を用意し、終わった合図として活動が終わったカードを児童に入れてさせるようにする。

実践した項目

1生活:刺激の調整⑤

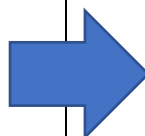
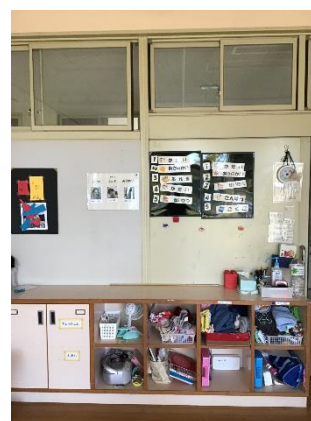
< 実践前 : 令和2年11月13日 >

< 実践後 : 令和2年11月13日 >

< 写真 >



< 写真 >



< 説明 >

児童の視野にたくさんの情報が入るような物の配置になっていた。

< 説明 >

児童の視野に入るものを必要最小限とし、児童が集中して授業を受けられるように整理整頓, 配置換えを行った。

< 環境の改善ポイント・児童生徒の変化など >

- ホワイトボードにはマグネットやマーカーなど, 必要最小限のものしか貼り付けない。
- 児童の目につかないところに収納をする。
- 児童がよく使うものは置き場所を決め, 児童と確認を行う。
- 児童は落ち着いて授業に参加し, 必要な情報に注意を向けるようになった。

< 今後の取組について >

児童が落ち着き, 集中しやすい環境づくりを行う。